



From
the People of Japan

アフリカ地域局の2020年プロジェクトハイライト - 2019年度の日本政府
補正予算プロジェクト期間 - 2020年3月~2021年3月

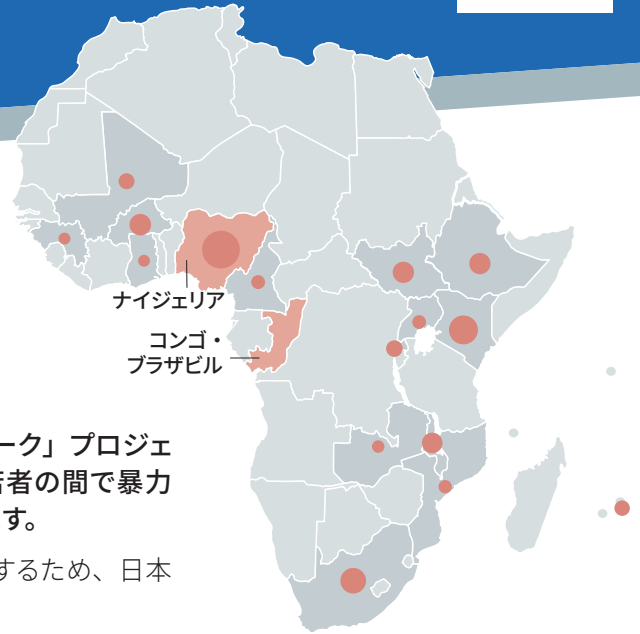
暴力的過激主義の防止、 安定化と社会融和



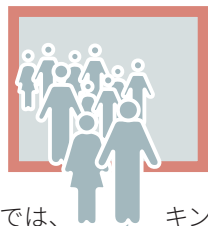
コンゴ・ ブラザビル

「平和や市民の価値観に関するヤングリーダーズ・ネットワーク」プロジェクトの再活性化は、積極的な対話の取り組みを通じて、若者の間で暴力的過激主義に対する問題意識を高めることを目的としています。

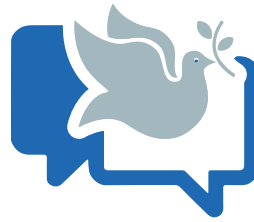
このプロジェクトは、ヤングリーダーズ・ネットワークを支援するため、日本とのパートナーシップにより実施されています。



6,800



最初の立ち上げフェーズでは、集会、スポーツ活動、ディベート、映画上映などに6,800人が参加し、そのうち3,882人が女性でした。



キンカラおよびミンドゥリのコミュニティラジオ局と、2016年に日本政府の資金供与で創設された市民（若年層）に向けたラジオを通じて、平和のメッセージが流されました。

12,660



12,660人（うち6,434人が女性）の意識が向上

ナイジェリア

「ナイジェリア北東部の紛争の被災者の復興と平和構築」プロジェクトは、同地域の早期復興を支援するとともに、人道・開発・平和の連携の実現を目指しています。

30



日本の毎日新聞大阪社会事業団は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を抑えるために、ボルノ州のグウォザとコンドゥガにある国内避難民キャンプに足踏み式手洗いスタンド30セット分の購入資金を提供

2,000



農業普及員40人への訓練後、3つの対象地域で2,000人の農家や一般世帯に農業普及サービスを提供

400



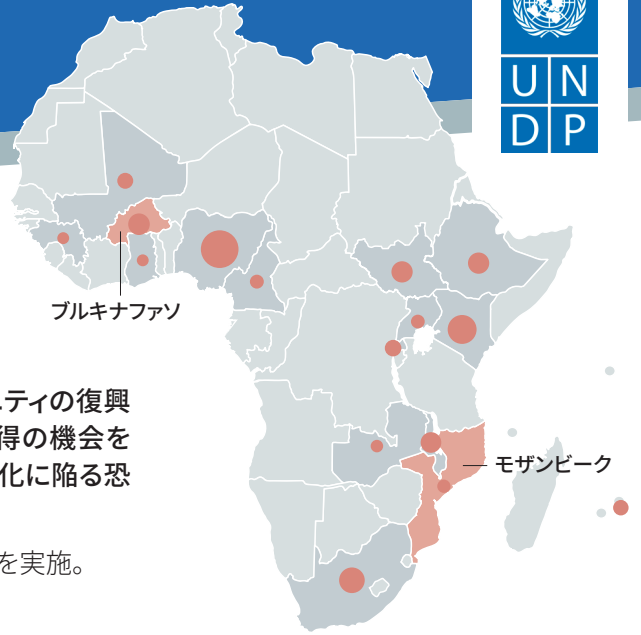
9割の世帯で農業生産が向上、400人の若者（うち女性84人を含む）に、生計を改善するための職業訓練を提供



From
the People of Japan

アフリカ地域局の2020年プロジェクトハイライト - 2019年度の日本政府
補正予算プロジェクト期間 - 2020年3月～2021年3月

暴力的過激主義の防止、
安定化と社会融和



ブルキナファソ

「ブルキナファソにおける暴力的過激主義の予防とコミュニティの復興強化」プロジェクトの主な目的は、若者と女性に所得獲得の機会を提供し、社会融和を促進することを通じて、紛争と治安悪化に陥る恐れのある対象地域の安定と復興に貢献することです。

UNDPは、日本とのパートナーシップによりこのプロジェクトを実施。



若者のためのフォーラムを開催し60人の少年少女が出席、暴力的過激主義を予防するために、地域でどのような持続可能な解決策を取り得るのかについて、意見が交わされました。



モザンビーク

「モザンビークのカーボ・デルガード州における平和、社会融和および紛争予防の促進」プロジェクトは、同地域における平和の定着と社会融和に向けて、復興と開発のニーズに対処することを目指しています。

日本とUNDPの支援の下、若者や女性を含む現地のリーダーたちが、カーボ・デルガード州の紛争予防と平和構築に向けて共通の道筋を描く取り組みに参加しました。

30



コミュニティメンバー、地方当局者、宗教指導者30人が、ペンバやメクフィなどの地元で行われた2つの宗教間対話に出席

60,000



60,000人の人たちが、ペンバやメクフィの近隣地域で計画されている宗教間対話の恩恵を受けます。

UNDP 報告書「JOURNEY TO EXTREMISM IN AFRICA」

UNDPと日本は、UNDPの基準研究「Journey to Extremism in Africa」のポルトガル語翻訳を支援しました。この報告書は、暴力的過激主義の動機付けや要因に対する理解を深めることを目的とした2年にわたるアフリカ研究であり、同大陸の最も危険な諸団体の新兵であった人たちが自身それぞれについて語ったものです。日本政府は2017年に、同報告書の制作に技術的支援と助言を提供した地域プロジェクト「アフリカにおける暴力的過激主義の防止と対応に向けた開発アプローチ」に資金提供しました。